

稲門政経会について

2009年4月に発足した、早稲田大学政治経済学術院公認の稲門会です。

早稲田大学政治経済学部、政治学研究科、経済学研究科、公共経営研究科の卒業生

および同学術院職員を会員の対象とします。

会員相互の親睦を深くし、校友の組織を充実させるとともに、

会員と早稲田大学政治経済学術院との連携を密にすることで、

同学術院および社会の発展に資することを目的に活動しています。

稲門政経会 方針

「世代、業界、産学をつなぎ、新たな価値が生まれるコミュニティの実現を目指します」

1. 「和して同ぜず」の精神で活動します

群れることを良しとせず、「在野精神」を大切にする早稲田大学卒業生の良さと特性を前提としたうえで、なお参加意欲をかきたてられる魅力ある会の運営を目指します。

やみくもに規模拡大を目指すことなく、本会の志に共感・共鳴する会員に参画いただくことで、共に価値を生みだし、丁寧かつ持続的に活動していくことを目指します。

2. 多様性のパワーを最大化します

本会会員はおよそ60年にわたる幅の年齢層、様々な業界をまたいで構成されます。参加目的や価値観は各自異なることもあると考えますが、これは多様性が生む力を本会が擁していることにほかなりません。

全会イベントだけではなく、世代間および同世代交流、地域、職業、趣味などを通じた発信や出会いの機会を企画し、多様な会員の皆様一人ひとりが価値を感じて参画し、互いにつながり、気づきを得ることができる、バラエティあふれる場を創ります。

3. 学術院公認稲門会として 産学連携の新しい形の実現を目指します

本会は、社会に広がる卒業生の人的ネットワークとその知見を活用し、政治経済学術院公認の卒業生同窓会組織として、産学連携に取り組みます。

学術院の教育および現役学生に直接貢献するのみならず、教授・学生との視点・アイデアの交換や体験の共有を通じ、従来の産学の枠組みを超えた活動を模索・実践して、よりよい社会の未来づくりにチャレンジします。